

公益財団法人 四万十川財団
TEL 0880-29-0200
FAX 0880-29-0201
Mail office@shimanto.or.jp
URL <http://www.shimanto.or.jp>



↑集合写真。



↑実習の様子。

■四万十樵（きこり）養成塾～森林ボランティア養成講座～

12月初旬、豊かな川を守るため山の整備に力を貸してくれる森林ボランティアを育成する「四万十樵養成塾」を開講した。この講座はチェーンソーの取扱いについて学ぶもので、労働安全衛生規則第36条第8号に則り、座学8時間・実技8時間を実施する。修了生にはチェーンソー手帳が発行され、以降、修了生は業務として伐木に携わることが可能となる。今年を受講生はチェーンソーに初めて触れるという20代から60代の男女9名。無事に全員が講習を修了し、今年も9名の樵が四万十に誕生した。

この講座は毎年当財団が主催して行っているものであるが、今年は特に個性豊かなメンバーが集まったので彼らの紹介をしていきたい。

まずは11月に四万十町に移住されたばかりの橋本ご夫妻。それまでは東京で暮らしていたが、自伐林業にチャレンジしたいと四万十町への移住を決意。チェーンソーの操作等、自伐について一から学びたいと今回の講座に参加してくれた。現在は県内各地の講習会に参加したり、作業させてもらえる山を探したり、必要機材の購入について検討したりする等、自伐林業のための基盤づくりを進めているようだ。

兵庫在住の赤井さんは、四万十が大好きで長期休みの度に遊びに来てくれる女性。数年前、初めて四万十川を訪れたときの感動が忘れられないと熱く語ってくれた。自転車を持参して四万十の風景や空気感を楽しみ、せいらんの里で人の温かさに触

れながら過ごしていかれるようだ。今回の講座には、大好きな四万十川の環境保全に関わりたくと参加してくれた。

最後に、四万十樵養成塾を卒業したメンバーで結成する森林ボランティア団体「四万十樵塾」のとにかくユニークなおんちゃん達。山遊びと面白いことが大好きで、彼らの周りでは笑い声が絶えない。毎月の間伐作業はもちろん、箸を手作りするワークショップを実施するなど県内各所で活躍しており、今回の講座では実習の助手をお願いした。

毎年個性豊かなメンバーが集まる四万十樵養成塾。来年はどんなメンバーが集まり、楽しく充実した講座になるのか、今から楽しみである。

